

第7次黒石市総合計画 (概要版)

総合計画とは

総合計画とは、まちづくりのめざす目標と、それを実現するための具体的な方向と内容を表すものです。

策定の趣旨

自信と誇りをもって次世代につなげられる^{ふるさと}故郷黒石市を目指します。具体的には次のまちを目指します。

- 市民の黒石力¹を結集し、地域コミュニティの充実と産業の振興により働く場所が確保されることで、持続可能で誰もが活躍する自立したまちを目指します。
- 歴史と伝統が息づく街並みには市内外から人が集まり、新たな交流と憩いの場が生まれる、元気なまちを目指します。
- 人口減少を緩やかにしつつ、子どもたちが希望をもって成長し、誰もが健やかであずましく暮らせる、安心なまちを目指します。

策定の理由

総合計画を、今後数年間のまちづくりにおいて、市民全員が理想を共有するツールと位置づけ、策定することとしました。

計画期間

2025(令和7)年度から2029(令和11)年度まで(5年間)

将来像

「いくつになっても住みよいまち 次世代につなぐ^{ふるさと}故郷 くらいし」

自立したまち、元気なまち、安心なまち、それぞれのまちづくりの目標の実現に向けて取り組むことで、市民の黒石力が結集して、市や地域コミュニティを始めとする様々な団体が活性化することになり、子どもから高齢者まで全ての市民があずましく暮らすことができるようになります。そして長く暮らせば暮らすほど、黒石市の歴史や文化を知ることができ、子どもたちが夢をもって成長し、後世に受け継いでいくことにもつながります。そうすることで、持続可能な、一体感のある強いまちになります。

1 黒石力とは、市民を始め地区協議会、行政、その他黒石市と関係のある個人・団体が、地域の価値を高めたり、課題を解決したりするなど、地域の活力を高めていく総合的な住民の力のことです。

まちづくりの政策分野と基本目標の設定

政策分野1 自立したまち

1.1 地域コミュニティの活性化で自立したまち（協働）

- 「黒石力」の結集により地域コミュニティを活性化させ、地域のことは地域で考え行動する住民主体のまちづくりの実現に向けて取り組みます。
- あらゆる世代の学びと成長が、市民の豊かな人生と「黒石力」の向上につながる生涯学習の推進に取り組みます。
- 市民の3R（リデュース・リユース・リサイクル）²に対する関心を高め、地域コミュニティとの連携、協力を図りながら資源物収集拠点施設等の環境整備を進めることで、ごみ減量化とリサイクル率向上による循環型社会の構築を目指します。

【主な取組事業】

■循環型社会の推進

資源ごみの分別やごみの出し方など広報や啓発活動を通じて定着させ、ごみ減量化とリサイクル率向上を目指します。

【主な目標値】

指 標	現状値	目標値
ごみリサイクル率（%）	13.5% （令和4年度確定値）	現状より上昇 （令和11年度）

1.2 しごとづくりで自立したまち（産業振興）

- 基幹産業である農林業が更に魅力ある産業へと成長するため、有機農業の推進や農産物のブランド化・国内外への販路拡大、スマート農業の推進、担い手の育成などにより経営の安定化を図ります。
- 市内事業者の経営改善や後継者育成などを支援する取組として、起業・創業や事業承継に必要な知識の習得と経営の安定化を図るための金融支援を行うとともに、「売れる・稼ぐ」商品の開発と販売力の強化のための取組を支援します。
- 東北自動車道黒石インターチェンジ周辺への産業集積により、物流の拠点化・最適化を推進することで雇用拡大を図るとともに、地場産業の競争力を強化するため、新たな産業創出を推進し、企業の誘致活動に取り組みます。
- 若者から高齢者までの多様な世代の就業の機会を創出し、就業者が健康で安心して働くことのできる環境づくりに取り組むことで、地元就職・地元定着を推進します。

2 3Rとは、（リデュース・リユース・リサイクル）の頭文字を取った3つのアクションの総称で、「リデュース＝ごみの発生や資源の消費自体を減らす」、「リユース＝ごみにせず繰り返し使う」、「リサイクル＝ごみにせず再資源化する」ことです。

【主な取組事業】

■商店街のにぎわい創出と活性化

中心商店街の空き店舗を活用して出店する事業者等に対し、店舗改修費等の補助金を交付するほか、出店後の経営状況等のフォローアップを実施することで、空き店舗の解消、商店街のにぎわい創出と活性化に取り組みます。

【主な目標値】

指 標	現状値	目標値
中心市街地内での 新規出店数	10 件 (令和元年度～令和5年度の合計値)	15 件 (令和7年度～令和11年度の合計値)

1.3 健全で効率的な行財政運営で自立したまち（行政経営）

- 公平・公正な賦課・徴収とふるさと寄附金等を活用した自主財源の安定的な確保に取り組みます。
- 限りある資源と財源を効果的・効率的に活用し、健全で持続可能な行財政運営に努めます。
- 多様化する市民ニーズや行政課題に柔軟かつ的確に対応できる職員を育成し、市民の視点に立った行政経営に取り組みます。

【主な取組事業】

■自主財源の確保

遊休財産の積極的な活用や処分、広告料収入の確保、ふるさと納税制度の活用等により、自主財源の確保に努めます。

【主な目標値】

指 標	現状値	目標値
ふるさと納税寄附額（個人）	462 百万円 (令和5年度)	500 百万円 (令和11年度)

政策分野2 元気なまち

2.1 歴史と伝統を活かした元気なまち（文化）

- 「こみせ」などの伝統的建造物や、「大石武学流庭園」といった多くの歴史的資産を保存・活用することにより、文化財保護意識の高揚を図ります。
- 市民が多様な芸術や文化に触れ活動することで感性と創造性を高め、郷土に対する愛着と誇りが後世に継承されるよう芸術・文化の振興に取り組みます。

【主な取組事業】

■伝統的建造物群保存地区の保存・活用

黒石ならではの「こみせ」が連なる伝統的景観を後世に残すよう修理・修景の推進と防災力向上に努め、保存・活用を促します。

歴史的景観形成と住環境の整備改善を官民が連携して行い、歴史的街並みと共存する黒石らしい豊かでゆとりのある生活環境の整備を推進します。

【主な目標値】

指 標	現状値	目標値
中町伝統的建造物群保存地区 保存修理工事補助延件数 (平成18年度からの累計件数)	23 件 (令和 5 年度)	30 件 (令和 11 年度)

2.2 憩いとにぎわいの場所を育む元気なまち（交流）

- 中心市街地に市民が気軽に集い、世代を超えて憩えるように、まちなかの空間を憩いとにぎわいの場所に育みます。
- 市民の暮らしと人々がにぎわう元気なまちづくりを支えられるように、交通事業者等と協働・連携するとともに、自動運転バスやコミュニティバスなどの新たな公共交通の導入を検討し、持続可能な公共交通ネットワークの確保・維持に取り組みます。

【主な取組事業】

■まちなかのにぎわいづくり

中心市街地活性化エリアで開催されるイベント等を支援することにより、中心商店街のにぎわい創出と経済活力の向上、交流人口の増加を図ります。

【主な目標値】

指 標	現状値	目標値
主要イベント ³ 入込数	87,000 人 (令和 5 年度)	104,000 人 (令和 11 年度)

2.3 新しい人の流れの創出で元気なまち（観光・人材）

- 黒石ねぶた・黒石よされなどの祭り、湯治場として栄えてきた黒石温泉郷の魅力を発信するとともに、インバウンドにも対応したまちづくりを行い交流人口の増加を図ります。
- 市外の人が多様な形で地域に関わり、担い手として活躍できるように関係人口の創出・拡大に取り組みます。
- 本市を全国に売り込む担い手を育成するとともに、本市の魅力を発信し、移住・定住促進に努めます。

3 主要イベントとは、「黒石よされ」、「黒石ねぶた祭り」、「黒石こみせまつり」、「黒石りんごまつり」のことです。

【主な取組事業】

■インバウンド観光の推進

訪日外国人旅行者の誘客に向けた仕組みづくりを進めるとともに、県や近隣市町村、関係事業者と連携し、情報発信や受入環境整備等の取組を強化します。

【主な目標値】

指 標	現状値	目標値
市内施設外国人宿泊者数 (延べ)	2,030 人 (令和 5 年度)	2,640 人 (令和 11 年度)

政策分野 3 安心なまち

3.1 子育て支援と教育環境の充実で安心なまち（子育て・教育）

- 安心して子どもを産み育て、そして育てる喜びを感じられる環境づくりに努めるとともに、本市の未来を担う子どもたちが笑顔で成長できるように、社会全体で子どもたちを育みます。
- また、おもいやりにあふれ、人とのつながりを大切にし、郷土に誇りをもち、個性を受け入れながら、自分たちの力で新しい時代を切り拓く、心豊かでたくましい人づくりを目指します。

【主な取組事業】

■安心して妊娠・出産できる環境の充実

妊婦健診等により重病化を防ぎ、早期治療を促すことで、安心して妊娠・出産できる環境の充実を図ります。

妊産婦の状態に応じた適時適切な医療を受けられる環境を整備し、妊産婦の不安解消と周産期死亡の低下に努めます。

【主な目標値】

指 標	現状値	目標値
妊娠期からの継続支援割合	99.2 % (令和 5 年度)	100.0 % (令和 11 年度)

3.2 地域福祉の充実で安心なまち（福祉）

- より多くの高齢者が可能な限り自立した日常生活を送れるように、介護予防を柱とすることで、健康で安心して暮らせるまちづくりを進めます。
- 介護や生活支援が必要になっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けられるよう地域包括ケアシステムの構築に努めます。
- 障がい児・者本人が望む地域生活の実現や職場への定着を図り、自立した生活と社会参加を促進するよう努めます。

【主な取組事業】

■地域包括ケアシステムの構築

住まい、医療、介護、予防、生活支援を一体的に提供する地域包括ケアシステムにおいて、10地区それぞれの特徴ある活動を生かした「黒石型地域包括ケアシステム」の構築を目指します。

また、高齢者が地域から孤立することを防止するため、地域における見守り活動を推進し、住み慣れた地域で安心して暮らすことのできる地域社会の実現を目指します。

【主な目標値】

指 標	現状値	目標値
住民主体のサロン活動や ささえ合い活動団体数	56 団体 (令和5年度)	70 団体 (令和11年度)

3.3 健康づくりの推進で安心なまち（健康）

- 平均寿命と健康寿命を伸ばすため、予防接種や健康診断などの疾病予防に取り組むとともに、「黒石市健康都市宣言」に基づき、市民一人ひとりの健康的な生活習慣づくりや心の健康づくりを推進します。
- 市民が日常的にスポーツに親しむことができるように、スポーツ施設の環境整備と関係団体と連携したスポーツ活動の充実に努め、「一市民一スポーツ」の実現と体の健康づくりを推進します。
- 誰もが安心していつでも適正な医療が受けられるように、行政と各医療機関が連携した取組を進めます。

【主な取組事業】

■各種健（検）診と受診勧奨の充実

疾病の早期発見、早期治療を進めるための各種健（検）診を実施します。

また、未受診者への受診勧奨や保健指導の充実に努めます。

【主な目標値】

指 標	現状値	目標値
がん検診受診率	胃がん	40.0%
	肺がん	40.0%
	大腸がん	40.0%
	子宮頸がん	50.0%
	乳がん	50.0%
	(令和5年度)	(令和11年度)

3.4 みんなが暮らしやすい安心なまち（安全・安心）

- 地震や豪雨による災害、事故などの危険から市民の生命と財産を守るため、ハード・ソフト両面から取組を進めて、危機管理や防災体制の強化を図ります。
- 生活基盤の整備、空き家対策等により、誰もが安全で安心して暮らせるまちづくりに努めます。
- 国や県、企業と連携した再生可能エネルギー導入の推進や、温室効果ガスの排出抑制により脱炭素社会の実現に向けて取り組むとともに、不法投棄防止等により環境保全に努めます。

【主な取組事業】

■自主防災組織の設立と支援

自主防災組織の設立と地域の安全を確保する活動に対して支援することで、災害に強いまちづくりを進めます。

【主な目標値】

指 標	現状値	目標値
自主防災組織率（%）	97.56% (令和5年度)	100% (令和11年度)



市長から市民の皆さんへ

黒石市長 高 樋 憲



現在、人口減少と少子高齢化の急激な進行により、社会経済に様々な面で影響を与えており、人々の価値観やライフスタイルが多様化するなど、本市を取り巻く環境も一段と厳しさを増しております。

このような状況の中で、本市が持続可能な都市として発展していくためには、これまで先人達が培ってきた歴史や文化、伝統を次世代へと受け継ぎながら、本市が誇る市民の皆様のコミュニティ力である「黒石力」^{くろいしりょく}を未来への礎として、市民と行政が一体となり、子どもから高齢者まで全ての市民が暮らしやすいまちづくりに取り組んでいくことが重要です。

本計画では、第6次黒石市総合計画の「いくつになっても住みよいまち 次世代につなぐ故郷」^{ふるさと}「くろいし」を将来像として引き続き掲げ、これまでの取組をさらに磨き上げるとともに、理想を後回しにせず、スピード感を持ってまちづくりに取り組んでまいりますので、皆様の御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

インターネットからも「第7次黒石市総合計画」をご覧ください。

黒石市ホームページ>市政情報>計画・取り組み>第7次黒石市総合計画
黒石市ホームページ <http://www.city.kuroishi.aomori.jp/>

第7次黒石市総合計画

発行日	令和7年3月
発行	青森県黒石市
編集	企画財政部企画課
印刷	有限会社アイティー